

2017-2018 年度 第三回中間報告書

(報告期間 2018 年 2 月 13 日～2018 年 5 月 22 日)

国際ロータリー第 2710 地区

グローバル補助金奨学生

小田佳世

◆ 報告書提出日：2018 年 5 月 22 日

◆ 基本情報

派遣クラブ：広島中央ロータリークラブ

カウンセラー：古澤宰治様

受け入れクラブ：Monterey Pacific Rotary Club

カウンセラー：Ms. Lisa Luscombe

教育機関：Middlebury Institute of International Studies at Monterey (MIIS)

専攻：MA in Nonproliferation and Terrorism Studies

1. 学業面での成果

2017 年度春学期に受講しているクラスは以下の通りです。

- 核不拡散分野における科学と技術（必須）
- 北東アジアにおける安全保障と軍備管理
- アラビア語 中級 3
- 核不拡散分野における資金調達
- 国際的危機における交渉の実践（週末ワークショップ）
- Policy Memo の書き方、読み方（週末ワークショップ）

2017 年度春学期は先学期に比べてとても忙しく、内容の濃い学期でした。主な理由として下記 3 点が挙げられます。

- ① 「核不拡散分野における科学と技術」クラスを履修
- ② 「クリティカル・イシューズ・フォーラム」に事務局員として参加
- ③ 「2020 年 NPT 運用検討会議第 2 回準備委員会」への参加

まず、①「核不拡散分野における科学と技術」クラスに関してですが、このクラスは、核不拡散に関する政策立案に関わることが想定される「核不拡散とテロリズム」プログラムを専攻する学生が、化学、物理、生物に関する基本的知識を構築するためのクラスです。私は幼い頃から理系科目に苦手意識を持っており、これまで理系科目を避けてきたせいで化学物質や微生物などに関する語彙も少なく、辞書を使うことがとても多いクラスでした。さらに定期的に小テストもあり、このクラスは今学期で一番大変なクラスだったと思います。一方で、大量破壊兵器に関する科学的な根拠を理解することができるようになった他、教授やクラスメイトのおかげで少しだけ理系科目へのアレルギーが軽減されたように思います。



会議前日にはリハーサルと学生たちの交流会を行いました。写真は今年度のテーマである核兵器禁止条約に関するクイズゲームの様子。

次に、②私が核不拡散センターの研究助手として関わった「クリティカル・イシューズ・フォーラム」は、高校生のための核不拡散・軍縮会議で、3月30・31日にモントレールの核不拡散センターで行われました。本会議には、私の母校である広島女学院を始めとする日本の7校、アメリカの7校、ロシアの3校の高校生が参加し、核兵器禁止条約について、参加したそれぞれの学校が研究の成果を発表しました。私は、プログラムマネージャーの元で、学生のホストファミリーの手配や、外務省に提出する諸手続

き、会議のプレスリリース、交流イベントの手配などの事務を一手に引き受けていたため、3月は目の回るような忙しさでしたが、アメリカとロシアの政治的緊張が高まる中、次の世代のための友好的且つ建設的な話し合いの機会を提供し、次世代の若者のための核不拡散・軍縮教育に貢献できたことは、とても有意義な経験でした。

最後に、③「2020年NPT運用検討会議準備委員会」は、私が先学期、「シミュレーション」クラスでエジプトの代表として擬似参加した会議です。幸運なことに核不拡散センターのディレクターである教授にお声掛け頂き、ジュネーブで開催された本会議に1週間ほど参加することができました。私にとっては初めての国際会議で、毎日朝から夕方まで会議に参加して、単純且つ複雑な外交活動の難しさを肌で感じ、吸収することができた貴重な経験でした。会議3日目に参加されていた湯崎広島県知事、松井広島市長にはご挨拶することはできませんでしたが、軍縮代表部の高見沢大使を始めとする日本政府団の方々には色々とお話を伺うことができ、大学院卒業後の進路についてもアドバイスを頂くことができました。期末テスト直前に授業を10日間程休まなければいけなかったので、極めて厳しい状況ではありましたが、次に繋がる貴重な経験を得ることができ、とても満足しています。



核不拡散センターディレクターのポッター教授、UN機関でインターン中の学生らとともに。



2020年NPT運用検討会議第2回準備委員会の様

2. 受け入れロータリークラブとの関わり



授業の都合で、クラブの週例ミーティングには参加できませんが、ボランティア活動やイベント等、参加できるものにはできるだけ参加するようにしています。

5月の定例ゴミ拾いには広島から訪ねてきていた友人も誘って参加しました。



ケンタッキーダービーという競馬の大きな大会の日には、ドレスアップして競馬を見ながらゲームなどをするファンディングイベントがありました。

3. 直面した課題、問題点等

想定していたことではありますが、来年度の授業料が4%上がることです。また、今回の報告書記載の「2020年NPT運用検討会議第2回準備委員会」のような外部イベントへの参加は、学校側からの金銭的援助を受けても自己負担が発生するので、学業の負担にならない程度に研究助手として働くなど工夫し、やりくりしていきたいと思います。

4. 今後の課題、目標

まずは、最終年となる来年度に向けて、夏休みの間にしっかり準備をすることが、当面の最重要課題です。6月には一週間の原子力保障措置コースを受講し、その後8週間のアラビア語集中講座に参加する予定です。学期中にもアラビア語クラスを受講していますが、週2回の授業ではどうしても語学力の維持に止まってしまう、なかなか向上を感じる事ができずにいました。今回のアラビア語集中講座は、日常生活の中でもアラビア語以外の言語を使用することを禁じられた寮生活の環境に身を置くことで、大きな成長が見込めるのでは、と今から期待しています。



今春卒業したアラビア語のティーチングアシスタントと共に、シリア人である彼女の卒業式に家族代行として参加しました。